

つちうら



Tsuchiura Public Relations

No.1210



明けましておめでとうございませす

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年は、トランプ大統領の就任やヨーロッパ各国で国政選挙が行われナショナリズムの台頭がみられました。国内でも解散総選挙により第4次安倍内閣が発足し、本県では新たに大井川知事が誕生するなど、選挙が多く実施された年でした。また、世界各地で大規模な自然災害が頻発し、我が国でも九州北部豪雨災害や台風が相次いで上陸するなど、自然災害が多く発生しましたが、本市では、大きな災害もなく明るい話題の多い一年でした。

大相撲では、本市出身の高安関が大関に昇進いたしました。ぜひ高安関には、本市の誇りとして更なる高みを目指してほしいと思っております。夏には、本市初のネーミングライツを採用した川口運動公園野球場がJ・COMスタジアム土浦としてリニューアルオープンいたしました。また、10月のダイヤ改正では、常磐線の東京駅品川駅乗り入れが大幅に増便され、長年の要望活動が実る結果となり、地域の活性化につながるものと期待しております。更に、県内最大規模の新図書館を市民ギャラリーとともに「アルカス土浦」としてオープンいたしました。多くの方から愛される施設を目指してまいります。そして、天皇皇后両陛下とルクセンブルク国大公王女両殿下を市民の皆様とともに、本市において歓迎できましたことは、大変光栄なことでした。

このような中、本年は、第8次土浦市総合計画がスタートする大事な年となりますことから、新治学園義務教育学校の開校をはじめ本市全域で小中一貫教育を実施するとともに、学校給食センター再整備事業や市民会館耐震化及び大規模改造事業、神立駅西口地区土地区画整理事業、清掃センター延命化事業、そして日本一のサイクリングロードの構築など、未来へとつなぐ基幹事業を着実に進めてまいります。改めて、「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくりと行財政改革の推進・市民サービスの向上を基本姿勢として、市政の更なる発展に全力を傾注していく所存です。

結びに、内平らかに外成る地平らかに天成る「平成」の元号も今年は30年の大きな節目を迎えます。本年が、市民の皆様にとりまして、平成の名のとおり平和で素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます、新年の挨拶いたします。

土浦市長 中川 清